



あおもりの未来
技術でサポート

野菜研究所ニュース

No.36 2025. 7

青森県産業技術センター 野菜研究所

< 掲 載 記 事 >

○新所長から挨拶

○令和7年度各部の主な研究紹介

・ドローンを利用したナガイモ生育診断

と収量品質向上技術(栽培部)

・ナガイモの優良種苗供給形態の変更

に対応した取組(品種開発部)

・ニンニク春腐病多発要因の究明

(病害虫管理部)

○トピックス 各種研修会の開催

・十川主任研究員が北日本病害虫研
究会賞受賞

・にんにく優良種苗生産技術研修会

・普及指導職員試験研究派遣研修

○新人紹介 雪田研究員

及川技能技師

○令和7年度 人の動き

新所長から挨拶

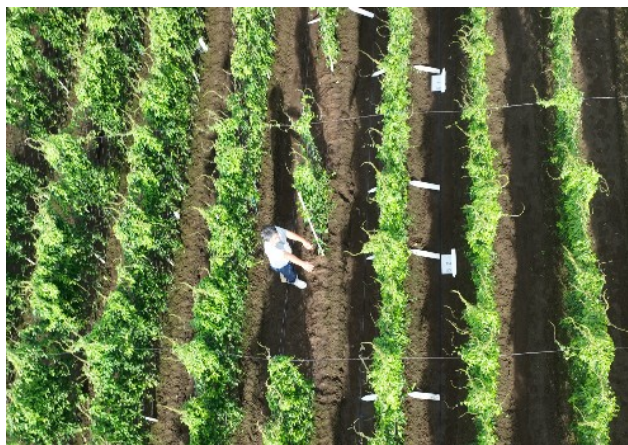
この度、青森県産業技術センター野菜研究所長を拝命しました木下均です。野菜研究所では、青森県のナガイモ、ニンニク等の特産野菜を対象に栽培法改善、新作型開発、施肥改善、新品種開発、優良種苗・種子の生産、病害虫防除技術の開発、技術相談等を行っています。今年度は、令和6年度から始まった第4期中期計画に基づき、ナガイモでは、最先端の知見や手法を用いた高品質安定生産技術の一つとしてドローンを利用した生育診断による高品質多収技術の研究や新たな種苗供給体制の整備を進めていきます。また、生産現場で問題となっているニンニク春腐病の多発要因の究明やゴボウ黒あざ病等の被害軽減技術の開発にも取り組んでいます。現場の課題を解決しながら、県内農業者の所得向上につなげていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。



令和7年度各部の主な研究紹介

ドローンを利用したナガイモ生育診断と収量品質向上技術（栽培部）

青森県のナガイモは全国でもトップクラスの出荷量を誇っていますが、収量と品質の向上が課題となっています。そこで、当研究所ではドローンによりナガイモの茎葉部の生育状況を把握し、茎葉部といも部の関連性から収量・品質が向上する追肥回数の判断技術の開発に取り組んでいます。



ドローンから撮影したナガイモほ場の様子

ナガイモの優良種苗供給形態の変更に対応した取組（品種開発部）

県では、これまでむかごでの供給であったナガイモのウイルスフリー種苗を、令和8年度から、形質の安定化が期待できる成いもでの供給に変更することとしています。それに対応し、現在、成いもの収穫時期が茎葉の生育や次世代のむかごや成いもの収量に与える影響について、また、網室内での成いもの栽培条件等について試験を行っています。



網室内での株間を変えた試験の様子

ニンニク春腐病多発要因の究明（病害虫管理部）

昨年（2024年）、新品種「青森福雪」では現行品種「白玉王」にくらべ春腐病の発生が多い傾向が認められました。昨年の生育条件としては、越冬前の生育が過剰ぎみだったこと、長期積雪期間が極端に短かったことが特徴だったため、秋のトンネル被覆および冬期の除雪処理によりこれら条件を人為的に再現し、2品種における春腐病発生頻度への影響調査を行っています。



ニンニク春腐病

十川主任研究員が北日本病害虫研究会賞 （研究報文部門 病害分野）受賞！

令和7年2月20日、青森市にて開催された北日本病害虫研究会2024年度総会において、当研究所病害虫管理部所属の十川聡子主任研究員執筆による論文「貯蔵リング果実に発生するリング黒星病の感染時期」が北日本病害虫研究会賞（研究報文部門 病害分野）を受賞しました。



北日本病害虫研究会賞の授賞式

令和7年度第1回にんにく優良種苗生産技術研修会

県農産園芸課が主催するにんにく優良種苗生産技術研修会が5月23日に当研究所で開催され、JA担当者、普及指導員等52名が参加しました。研修では作況ほ場にて今年度産の生育状況と今後の管理について説明があり、その後、会議室に移動し、適期収穫・適正乾燥のほか、高温対策技術や令和8年産植付のポイント等について研修が行われました。



にんにく作況ほ場での研修会の様子

令和7年度普及指導職員試験研究機関派遣研修（野菜）

普及職員2年目を対象とした「普及指導職員試験研究機関派遣研修」の野菜部4名の研修が始まりました。研修では、普及指導活動に必要な部門別の基礎技術・知識等の習得を目的とし、第Ⅰ期が農林総合研究所花き園芸部（トマト、イチゴ等の研修）で、第Ⅱ期（ニンニクを主体に研修）と第Ⅲ期（ナガイモを主体に研修）を当研究所で研修することとなっています。



←にんにく調査の実習



←調査データの解析手法の実習

新人紹介

○栽培部：雪田 絢慎（ゆきた けんしん）

新採用者から一言：働き始めてから2ヶ月が経ちました。まだまだわからないことばかりですが、日々学ぶ気持ちを大切に、青森県の農業の発展に貢献できるよう一生懸命頑張ります。

○栽培部：及川 友太（おいかわ ゆうた）

新採用者から一言：採用から2ヶ月が経ち、環境にも少しずつ慣れ、やりがいのある仕事できて毎日が充実しています。今後も事故や怪我に注意しながら日々の業務に取り組んでいきたいです。

人の動き

○転出者（令和7年3月31日付）

職 名	氏 名	新 所 属
所長	木村 勇司	農林総合研究所 総括研究管理員（役職定年）
研究管理監	新藤 潤一	食品総合研究所 企画経営監
主幹	高橋 久子	りんご研究所県南果樹部 主幹
研究員	青山 理絵	りんご研究所県南果樹部 主任研究員
技能技師	坂本 保	りんご研究所県南果樹部 技能技師

○転入・昇任（令和7年4月1日付）

職 名	氏 名	旧 所 属
所長	木下 均	下北地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室長
研究管理監 栽培部長事務取扱	前嶋 敦夫	総括研究管理員 栽培部長事務取扱
総括主幹	蛭名 清人	畜産研究所 総括主幹
研究管理員	石岡 将樹	農林総合研究所病虫害管理部 研究管理員
主任研究員	十川 聡子	研究員
研究員	雪田 絢慎	新採用
技能技師	平野 敬	りんご研究所県南果樹部 技能技師
技能技師	及川 友太	新採用

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 野菜研究所

〒033-0071 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柳沢91 0176-53-7171